

市民セクター全国会議2018

市民社会の広がと然新たな挑戦

2018年 11月 22(未)・23日(金・祝) 聖心女子大学 4号館/聖心グローバルプラザ

(東京都渋谷区/最寄り:地下鉄日比谷線 広尾駅徒歩 2分)

参 加 費 : 【両日参加】10,000円 (日本NPOセンター正会員8,000円)

【1日参加】 8.000円 (日本NPOセンター正会員7,000円)

定 員: 200名

E 催: 特定非営利活動法人日本NPOセンター

財 象: NPO、NPO支援組織、公益法人、社会福祉法人、

企業、財団、その他ソーシャルセクターに関わる個人など

後 援: 一般社団法人 環境パートナーシップ会議

公益財団法人 公益法人協会

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター (JANIC)

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

日本生活協同組合連合会

1% (ワンパーセント) クラブ

関連イベント NPO法施行20周年フォーラム 11月21日(水)14時~17時 アルカディア市ケ谷(東京都千代田区) 主催: 特定非営利活動法人 シーズ・市民活動 を支える制度をつくる会 特定非営利活動法人 日本NPOセンター 特定非営利活動法人 まちぽっと



市民活動を推進する制度として1998年に NPO法が制定されてから20年。5万を超える NPO法人数、公益法人制度改革、社会的企業 の定着、SDGsを背景にした企業の非財務領域 の強化などもあって、市民活動はある程度社会 に定着してきました。

一方で、現代社会は「誰もが人生に不安を感じる社会」といえます。少子高齢化によって地域社会は維持できなくなり、コミュニティの機能をサービスで代替することで孤立化が進んでいます。孤立は不信を生み、管理と規制を求める風潮が強くなっています。

私たち市民セクターは、自らが「社会課題の解決」の担い手として多様な取り組みを強化してきました。

いま、私たち市民セクターがさらに追い求めた いことは

- 多様な問題意識にもとづいた活動が育まれる
- 共感をもとに活動への参加が生まれ、より多くの人が社会課題への関心を高めること。
- 取り組みがサイクルとなり、セクターを超えた 協働が創出されること。
- 地道であっても自らが主体となって社会をかたち告っていく営みを生み出すこと。

これらの取り組みを通して、社会に新しい価値を創出することが、市民セクターに求められる役割です。私たちは「共感」「参加」「多様性」を重視した、市民セクターならではの方法で、この不安な社会に立ち向かいます。手法や事例から学び、そして持続可能な社会に変革するための「問い」をみなさまとの議論から生み出します。

次の20年を見越した、新たな挑戦のための行動を創り出すこの会議に、ぜひご参加ください。



市民セクター全国会議とは

出会い、学び、考え、社会課題解決のために新たな連携を生み出す会議

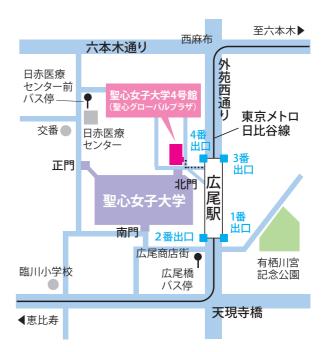
市民セクター全国会議は、社会課題解決と新たな価値創造に取り組む全国のNPOや、NPO支援組織、企業、行政などが一堂に会す会議です。市民社会の創造を目指し、現代社会が直面する課題や、今後あるべき取り組みを議論します。市民セクターとは、NPO法人だけでなく、社会福祉法人、公益法人、一般法人、協同組合、地縁組織など、社会課題解決に取り組む幅広い主体を含めて捉えています。

本会議は、2002年から2年に1度開催しており、今回で9回目の開催です。



■アクセス

- ■東京メトロ日比谷線「広尾駅」 (4番出口→約2分)
- JR 渋谷駅東口または恵比寿駅より 都バス「日赤医療センター前」行 (終点「日赤医療センター前」 下車→約3分)
- JR 品川駅より都バス「新宿駅西口」 行(「広尾橋」下車→約4分)
- JR 目黒駅より都バス「千駄ヶ谷駅」、「新橋駅」行(「広尾橋」下車 →約4分)



聖心女子大学に 隣接する、 聖心グローバル プラザです。



■タイムテーブル

1日目 (11.22) 2日目(11.23) 10:30-12:00 13:00-15:00 15:30-17:30 18:00 10:00-12:00 13:00-15:00 セッション1 セッション2 セッション3 分科会1 分科会6 全体セ 分科会 11 クロ 分科会 2 分科会7 分科会 12 尽 ッション 食 分科会3 分科会8 分科会 13 分科会 4 分科会9 分科会 14 分科会5 分科会 10 分科会 15 90分 60分 120 分 120 分 120分 60分 120分

●ランチセッション (2日目11月23日:昼食休憩中/申込制)

若者と地域をつくる「NPOインターンシップ」プログラムの意義や成果を共有します。

(主催: NPOインターンシップラボ/協力: 公益財団法人トヨタ財団)

オープニング/1日目(11月22日)

10:30 ~ 12:00

今回の開催趣旨に基づく課題認識を共有、主催者から問題提起します。









吉田 建治 特定非営利活動法人 日本NPOセンター事務局長 セッション 1

13:00~15:00



SDGs時代における NPOと企業の協働

~一歩先へ~

SDGs時代を迎え、企業は、より一層持続可能な社会の実現を目指すよ うになりました。その実現のひとつの方策として、NPOとのパートナー シップが重要視されています。企業側として、NPOの先駆性や開拓性 への期待が高まる一方で、ガバナンスの強化による情報開示・透明性・ 相互の理解などの要求も高まっています。企業との協働を目指すNPO も増え、社会的な価値の創造のために、企業とNPOの発展的な協働 の関係について、新たな発見を探ります。

おすすめ→ 企業、行政、NPO、NPO支援組織

(スピーカーは他1名調整中)



竹内 ゆみ子さん 特定非営利活動法人まちづくりスポット



東郷 琴子さん パナソニック株式会社 ブランドコミュニケーション本部 CSR・社会文化部 事業推進課 主幹



金田 晃一 さん 前 特定非営利活動法人日本NPOセンター 理事/ 株式会社NTTデータ総務部社会貢献推進室 シニア・スペシャリスト



新田 英理子 特定非営利活動法人日本NPOセンター



評価

評価がNPOの力になる ~地域から見つめ直す評価の原点~

市民セクターに起こり始めた本格的な「評価 | の波。とにかくやらなけ ればならないようだという、不安な思いや焦る気持ちだけでは、この波 に飲み込まれてしまいます。これまで、個々のNPOが手法を使いこなす 事だけではなく、評価がセクター全体の力となるために、評価のあり方 について発信をしてきました。そもそも私たちは誰のために、何のため に、どういう評価を取り入れたいと思っているのか。この原点に立ち返 りながら、「地域」の視点で取り組んできた講師と共に議論を深めます。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織

(スピーカーは他1名調整中)



小池 達也さん

東海若手起業塾実行委員会 事務局長/ 地域のコモンズと評価に関する研究会 進備会メンバー



特定非営利活動法人暮らしづくりネット ワーク北芝 コーディネーター/公益財団法 人京都市ユースサービス協会 理事



■コーディネーター 清水 みゆき

特定非営利活動法人日本 NPOセンター スタッフ



公共施設が市民と 共に取り組む場づくり

市民ひとり一人が自分らしく、生きがいをもって地域で暮らすためには、 人と人、さまざまな資源がつながる場が必要です。この場をつくるのは NPOだけではありません。市民のスペースである公共施設もそのひと つであり、今この場所を舞台に市民が当事者として地域に関われるさま ざまな場が生まれています。この分科会では、地域のさまざまな公共施 設で行われている場づくりをとりあげ、市民ひとり一人と地域の多様な 主体が協働していくための方策を考えます。





南 信乃介さん 那覇市繁多川公民館 館長/特定非営利活 動法人1万人井戸端会議 代表理事



下吹越 かおるさん 特定非営利活動法人本と人とをつなぐ そらまめの会」理事長



西川 正さん 特定非営利活動法人ハンズオン埼玉



休眠預金の活用は社会課題の 解決につながるか?

「休眠預金等活用制度」が2019年から始まります。市民セクターにも多 額の資金が供給される可能性があり、注目されている一方で、その資金 をどのように扱うのか、固まっていない部分も多く残されており、私たち の向き合い方によっては負の影響も懸念されています。この制度が市民 セクターに与える影響について検討し、当事者が取り残されることなく、 社会課題の解決への取り組みが促進されるために、今後わたしたちは どのような点に留意すべきかを議論します。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織、財団

(スピーカーは他1名調整中)



奥田 裕之さん

特定非営利活動法人まちぽっと 事務局長

市民セクター全国会議



服部広隆さん

特定非営利活動法人福岡すまいの会



一般社団法人ソーシャルコーディネートかな がわ 副理事長



実吉 威さん

特定非営利活動法人市民活動センター神 戸 事務局長/公益財団法人ひょうごコミュ

分科会 5

地域

NPOと地域コミュニティ ~地域のくらしを支えるこれからの連携~

地域コミュニティには、地縁組織、社会福祉協議会、NPOなどがそれ ぞれの取り組みをし、お互いに連携や協力しての活動も各地で始まって います。現在、地域課題の多様化や個別化などが進み、課題解決のた めの豊かな力として期待されます。「地域のくらし」を真ん中に置いたと き、NPOによる従来の制度で対応されない領域に目を向けた取り組み と、社会福祉協議会による制度運用に留まらない地域課題解決の取り 組みを通して議論します。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織、社会福祉協議会、協同組合、地縁組織



四戸 泰明さん

特定非営利活動法人なんぶねっと 理事長



小柴 徳明さん

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会 経営戦略係長

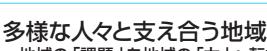


古賀 桃子さん

特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター 代表/特定非営利活動法人日本NPOセン



15:30~17:30 セッション2





分科会

~地域の「課題」を地域の「力」へ転換する~

社会全体の変化に伴い、日本社会は"多様な"、そして"新たな"課題に 直面しているといえます。課題を抱えている人もそうでない人も、あらゆ る人が受け入れ合い、支え/支えてもらいながら共に生きる社会を、地 域社会においてどう実現できるかが重要です。さらに、いわゆる「課題」 や「困りごと」が、逆に地域の助け合いの力が引き出されるきっかけと なるなど、プラスへの転換を起こすためにNPOはどう関わることがで きるか、実践から考えます。

おすすめ→ NPO、社会福祉協議会、協同組合、地縁組織



桜井 野亜さん

福島避難者のつどい 沖縄じゃんがら会 代表



梅原麗子さん 福知山市福祉保健部子ども政策室 南佳屋野児童館 館長



東家 零子さん 特定非営利活動法人京都丹波・丹後ネット



星野 智子さん

一般社団法人環境パートナーシップ会議 副代表理事/一般社団法人SDGs 市民社 会ネットワーク 業務執行理事/特定非営利 活動法人日本 NPOセンター 理事



市民社会スペースを 押し広げる取り組みを知る

市民セクターの基盤として、市民が自由に発言・活動できる領域(=市 民社会スペース) が保障されていることが重要ですが、世界各国でこの 領域が縮小しています。日本での縮小は、直接的な力によるものとは違 った形で進行していますが、市民セクター全体にかかわる大きな問題だ という認識があまり見られません。本分科会では、市民社会スペースの 概念整理を行い、この問題がNPO・市民活動にどのように立ち現れ、 どう影響を与えているのか、この領域を擁護し、押し広げるためにでき ることは何なのかを考えます。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織

企画協力:市民社会スペースNGOアクションネットワーク(NANCiS)



9

ICTの力で市民がつくる 新たなコミュニティの可能性

自分たちの生活の困りごとや地域の課題に問題意識をもった市民が ICT の力でつながり、新たなコミュニティをつくりだしています。Z世代のこれか らの活躍やデジタル・デバイドの背景がある中、ICTを活用した地域の中 の住民同士、地域や国籍を超えたコミュニティを容易につくることができる 環境が整ってきています。この分科会では、市民がつくる新たなコミュニテ ィづくりの可能性とそのコミュニティを活かす人材について話し合います。

社会に新しい価値を生み出す

休眠預金の活用実施などをめぐる大きな動きがある一方で、民間の志

をもった民間資金の特色や独自性はどういったところにあるのでしょ

うか。たとえば、資金の出し手と受け手の対話と協議を通した非公募・

計画型の支援や、長期的な視野に立ったうえでの継続的な支援、「臨機

に、迅速に、柔軟に」対応できる支援金などがあげられます。この分科

会では、NPOの課題解決志向が強まる中、新たな価値創出につながる

資金の可能性や、広い視野と長期的な視点に立って「市民社会」を育ん

でいくための資金的な支援のあり方について、特徴のある民間資金の

おすすめ→ NPO、NPO支援組織、社会福祉協議会

資金提供

(スピーカーは他1名調整中)



片山 正夫さん 公益財団法人セゾン文化財団 理事長

大西 連ざん

ター・もやい 理事長

林 美帆さん

谷山 博史さん

今田 克司

(Dan Castellano)

関治之さん

代表理事

特定非営利活動法人自立生活サポートセン

公益財団法人公害地域再生センター (あおぞら財団) 研究員

市民社会スペースNGOアクションネットワー

ク 共同代表理事/国際協力NGOセンター

理事長/日本国際ボランティアセンター 理事

特定非営利活動法人日本NPOセンター

ダン・カステラーノさん

一般社団法人コード・フォー・ジャパン



北村 智子さん 一般財団法人おおさか創造千島財団



大野 満さん 公益財団法人 トヨタ財団 事務局長



日本障害フォーラム(JDF) 事務局



■コーディネーター 渡辺 元さん 公益財団法人助成財団センター 事務局長



市民セクター全国会議

分科会 10 協働

連携で支えあう 地域医療とくらし

誰もが、自身で選んだ場所で暮らせる地域をめざし、いま、医療や福祉 の専門職、地域住民、行政、NPOが様々な連携に取り組んでいます。そ の背景には、過疎高齢化や小児難病、在宅医療、多文化社会など、社会 の変化があります。いつでも、どこでも、だれもが、安心して暮らせる社 会の実現のために、セクターを超えて連携に必要なことは何か。医療分 野のNPOの先駆的な取り組み事例から学びます。

おすすめ→ 企業、NPO



岩室 紳也さん ヘルスプロモーション推進センター 代表



川口耕一さん 一般財団法人健やか親子支援協会



岩元 陽子さん 特定非党利活動法人 多言語社会リソースかながわ(MICかながわ)



萩原 なつ子 特定非営利活動法人日本NPOセンター 代表理事

分科会/2日目(11月23日)

セッション3

10:00 ~ 12:00



社会活動と評価の 関係を考える

~私たちの価値は私たちが決める! ~

NPOによる事業の社会的成果の可視化が期待され、一方で企業にお いても、投資家を意識した CSR・CSV 活動の評価が進んでいます。外 からの要求にいかに応答するかだけでなく、活動の価値をどう自ら社 会に示していくかを考える時が来ているといえます。ソーシャルワーク における評価を通した成果の可視化の取り組みを踏まえ、企業におけ る社会貢献活動の評価の潮流とNPOによる成果指標作成の実践事 例をもとに、あらゆる社会活動に共通する評価との関係性、評価を通し た価値創出について考えます。

おすすめ→ 企業、NPO、NPO支援組織



大島 巌さん 日本社会事業大学 学長



伊藤 佐和さん ジョンソン・エンド・ジョンソン 日本法人グループ 社会貢献委員会 マネジャー



石井 正宏さん 特定非営利活動法人パノラマ 代表理事



今田 克司 特定非営利活動法人日本NPOセンター



地域

地域の力を引き出す支援力 ~これからの中間支援の役割を考える~

地域づくりのための様々な施策や市民活動がある中で、個々の取り組み をつなぎ、後押しし、環境づくりを行うための原動力となるのが「中間 支援」です。地域の力を引き出すための支援力について、NPO支援セ ンターや社会福祉協議会などのアプローチに注目し、事例を通じて「地 域を動かすコーディネーション」の更なる発展のための議論をします。

おすすめ→ NPO支援組織、社会福祉協議会



石原 達也さん

特定非営利活動法人岡山NPOセンター 代表理事/特定非営利活動法人みんなの 集落研究所 代表執行役



青山 織衣さん 社会福祉法人岸和田市社会福祉協議会



田尻 佳史 特定非営利活動法人日本NPOセンター



企画協力:公益財団法人 助成財団センター

事例紹介等を交えながら皆様と考えていきます。

(スピーカーは他1名調整中



分科会 **13**

参加

市民が課題の当事者になることを再考する

私たちは、具体的な社会の課題を知り、その当事者と出会うことで、自らも「当事者」になっていきます。市民の参加により、課題解決に関わるうとする人が増え、社会の課題を自分事とする人が増えていきます。この分科会では、様々な生きにくさを抱える当事者と共に試行錯誤する活動をとりあげ、市民が課題の当事者になっていくために必要な考え方・姿勢、アクションを考えます。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織



■スピーカー

工藤 瑞穂さん
特定非営利活動法人 soar 代表理事
/ウェブメディア「soar」 編集長



スピーカー 山口 由美子 本 不登校を考える親の会「ほっとケーキ」 代表



コーディネーター 早瀬 昇 さん 社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務 理事/特定非営利活動法人日本 NPOセン ター 理事

分科会 **14**

基盤

支援における関係性を考える ~"してあげる" 支援から "共にある" 支援へ ~

NPOをはじめとしたさまざまな領域で支援を行っている支援組織の支援"に潜む問題点について立ち止まって考えます。"支援する側"(NPO)と "支援される側"(当事者)の関係性にある格差の問題、"してあげる"支援によって当事者の自己決定力が奪われるという矛盾とどう向き合えば良いのでしょうか。このような問題をきちんと理解しつつ、寄り添い共にある"支援"のあり方、"市民的"専門性をもつ支援とは何なのかを一緒に考えていきましょう。

おすすめ→ NPO、NPO支援組織



スピーカー **布田 剛**さん 特定非営利活動法人地星社代表



■スピーカー 石黒 好美さん フリーライター



高山 弘毅さん Nukiito代表

分科会 **15**

協働

地方議会との対話 ~政策協働していくためには~

NPOは地域社会にとって無くてはならない存在として認識され、NPOと行政の協働に対する理解も大きく進みました。一方で、これまでの協働施策は、執行責任者としての行政側との協働が中心でした。今後、協働施策が条例制定や予算措置を伴うものであれば、初期段階から立法権を持つ地方議会との対話をすることも大切です。より発展的な政策協働のために、地方議会との協働の対話について考えます。

おすすめ→ 行政、NPO、NPO支援組織



秋山 三枝子さん 新潟県議会議員



スピーカー 村田 恵子さん 特定非営利活動法人さいたまNPOセン ター 専務理事





■コーディネーター **椎野 修平** 特定非営利活動法人日本 NPOセンター 特別研究員

※プログラムの内容は変更になることがあります。ウェブサイトで最新の情報をご確認ください。

